

葉山町相談支援ファイル「こん葉ず」とライフステージ

～就学前のお子さんのご家族へ～

<妊娠・出産時について>

- 妊娠・出産時の状況や、乳幼児期の発達経過、気になっていたこと、既往歴などについて記録しておきましょう。

<幼児期について>

- 幼稚園・保育園の先生との面談時などにファイルを持参しお子さんへの対応方法を一緒に考えてもらうようにしましょう。また、相談した内容を記録しておくようにしましょう。
- 心理発達相談員や言語聴覚士などの専門職と面接する場合には、ファイルを持参し、相談したことや、助言内容を記録しておくようにしましょう。
- 町の療育機関の「たんぼぼ教室」や民間の療育機関の支援を受ける場合は、参加したときの様子などを記録しておくようにしましょう。また、教室での「個別支援計画」の写しなどを綴じるようにしましょう。
- 「たんぼぼ教室」で医師による医療相談を受けた場合には、医師からの診察結果や、助言内容を記録しておくようにしましょう。
- 医療機関を受診する時にはなるべく持参しましょう。特に児童精神科を受診される時は、医師からの診察結果や助言内容などを記録しておくようにしましょう。「診断書」などがある場合には写しを綴じておくようにしましょう。
- 児童相談所で発達に関する相談をした時や、療育手帳の判定などを受けた時には、記録しておくようにしましょう。

<就学にあたって>

- 小学校入学前に、学校教育課で「教育相談」を受ける場合には、ファイルを使ってそれまでのお子さんの様子を伝え、就学後にどのような支援があるとよいかを検討する上で有効です。

母子健康手帳は巻末にあるビニールファイルに入れて、保存しましょう

葉山町相談支援ファイル「こん葉す」とライフステージ

～小学生のお子さんのご家族へ～

- 小学校での様子や、本人の得意なこと、苦手なこと、その時に好きだったこと、友達との関係など、お子さんの成長の過程を記録しましょう。
- 保健記録や成績表などを綴っておくと今後の支援の参考になります。
- 学校の先生などに相談される時にファイルを提示すると、過去の様子も伝えやすく、今後の支援が検討しやすくなります。
- 学校の「個別の教育支援計画」の写しは、ファイルに綴りましょう。
- 進級時には、次の担任教諭にファイルを使ってお子さんの経過を伝えることでお子さんへの支援のポイントが明確になり、継続的な支援をスムーズに受けることができます。
- 中学進学時には、入学を予定している中学校にファイルを使ってお子さんの状況を伝え、ご家庭と学校の先生との間で必要な情報を共有することができ、進学後のお子さんの支援に活用することができます。
- 医療機関（児童精神科など）を受診される時にはファイルを持参しましょう。また医師からの診察結果や助言内容などを記録しましょう。「診断書」や「検査結果」がある場合には写しを綴っておくようにしましょう。
- 児童相談所などで発達に関する相談をした時や、療育手帳の判定を受けた時には、記録しておきましょう。
- 「放課後等デイサービス」などを利用された場合には、参加した時の様子などを記録しておくようにしましょう。
- 「特別支援学級」、「特別支援学校」や「ことば・きこえの教室」で支援を受ける時は、ファイルを使ってお子さんの状況を伝えるようにしましょう。参加した時の様子や、教室での助言内容は記録しましょう。
- フリースクールなどを利用される時は、ファイルを使ってご本人の状況を伝えるようにしましょう。スクールに参加した時の様子や、スクールでの助言内容を記録するようにしましょう。

葉山町相談支援ファイル「こん葉す」とライフステージ

～中学生の方とそのご家族へ

- 中学校での様子や、得意なこと、苦手なこと、その時に好きだったこと、友達との関係、部活動での様子など、生活の様子を記録しましょう。
- 保健記録や成績表なども綴っておくと今後の支援の参考になります。
- 学校の先生などに相談される時にファイルを提示すると、過去の様子も伝えやすく、今後の支援が検討しやすくなります。
- 学校の「個別の教育支援計画」の写しがある場合には、ファイルに綴じるようにしましょう。
- 進級時などには、次の担任教諭にファイルを使って今までの経過を伝えることで、ご本人への支援のポイントが明確になり、継続的な支援をスムーズに受けやすくなります。
- 高等学校などへの進学時には、入学を予定している高校などにファイルを使って状況を伝え、ご家庭と学校の先生との間で必要な情報を共有することができ、進学後のご本人の支援に活用することができます。
- 医療機関（児童精神科など）を受診される時には持参し、今までのご本人の経過をファイルの情報を使って説明するようにすると、明確に伝えられます。また医師からの助言内容も記録するようにしましょう。「診断書」や「検査結果」などがある場合には写しを綴じておくようにしましょう。
- 児童相談所などで相談や療育手帳の判定を受けたら、記録をしましょう。
- 「放課後等デイサービス」などを利用された場合には、参加した時の様子などを記録しておくようにしましょう。
- フリースクールなどを利用される時は、ファイルを使ってご本人の状況を伝えるようにしましょう。スクールに参加した時の様子や、スクールでの助言内容を記録するようにしましょう。
- 就労する場合には、ファイルを使いながら相談すると、望ましい就労環境の検討が行いやすくなります。

葉山町相談支援ファイル「こん葉^oす」とライフステージ

～高校生の方とそのご家族へ

- 高校での様子や、得意なこと、苦手なこと、その時に好きだったこと、友達との関係、部活動での様子など、生活の様子を記録するようにしましょう。
- 保健記録や成績表なども綴じておくと今後の支援の参考になります。
- 学校の先生などに相談される時にファイルを提示すると、過去の様子も伝えやすく、今後の支援が検討しやすくなります。
- 学校の「個別の支援計画」の写しがある場合には、ファイルに綴じるようにしましょう。
- 進級時などには、次の担任教諭にファイルを使って今までの経過を伝えることで、ご本人への支援のポイントが明確になり、継続的な支援をスムーズに受けやすくなります。
- 医療機関（精神科など）を受診される時には持参し、今までのご本人の経過をファイルの情報を使って説明するようにすると、明確に伝えられます。また医師からの助言内容も記録するようにしましょう。
- 医療機関（精神科など）からの、「意見書」や「診断書」、「検査結果」などがある場合には写しを綴じておくようにしましょう。
- 児童相談所などで相談や療育手帳の判定を受けたら、記録をしましょう。
- 「放課後等デイサービス」などを利用された場合には、参加した時の様子などを記録しておくようにしましょう。
- フリースクールなどを利用される時は、ファイルを使ってご本人の状況を伝えるようにしましょう。またスクールに参加した時の様子や、スクールでの助言内容を記録するようにしましょう。
- 相談支援事業所に相談をする時に、ファイルを使って相談すると、今までの経過が伝えやすくなり、今後の支援検討が行いやすくなります。
- 就労する場合には、ファイルを使いながら相談すると、望ましい就労環境の検討が行いやすくなります。

葉山町相談支援ファイル「こん葉す」とライフステージ

～大学生・社会人等の方とそのご家族へ～

- 学生の方は、「学生相談室」などで学生生活全般のご相談をする時などにファイルを使うと、困っていることの要因が伝わりやすくなり、サポートのあり方を一緒に考えやすくなります。
- 就職先を探す時にも、ファイルを使いながら相談すると、望ましい就労環境の検討が行いやすくなります。
- 相談支援事業所に相談をする時に、ファイルを使って相談すると、今までの経過が伝えやすくなり、今後の支援検討が行いやすくなります。
- 既に就労している社会人の方は、健康管理室などで相談される時に相談内容や結果を記入しておかれると、就労環境の調整に活用できます。
- 会社の産業医などに相談する時にも、ファイルを使いながら相談すると、就労環境の調整などに活用できる場合があります。
- 医療機関（精神科など）を受診された時には、医師からの診察結果や助言内容も記録するようにしましょう。

